
心配性

並盛りライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

心配性

【Nコード】

N5675A

【作者名】

並盛りライス

【あらすじ】

僕は少し変わっている。過度の心配性だ。はじめての彼女とのデート前日は大変だ…。

僕は少し変わっている。どう変わっているかというと、過度の心配性なのだ。

いろいろなことが心配で、いつも慎重に行動する。

横断歩道を渡る時は、一度赤になってから、さらに青になるまで待つ。

朝、出かける時間よりも三時間早く起きる。

そんな僕のことを、みんなは変だというが、心配し過ぎて悪いことなんてない。

僕が今、心配なことは、はじめてできた彼女と明日デートする約束をしていることだ。

約束をしたのは三ヶ月前で、デートの場所は七回ぐらい下見をした。

雨が降っても大丈夫で、交通の便が良く、治安がよく安全な所を選んだ。

実際に三回ぐらいシュミレートして、どこに行けば何があるか把握した。

そして、話題が尽きないように彼女の好きな派手なビジュアルバンドの事も知りました。

正直いって、そこの女の子達よりも詳しいはずだ。

お風呂に入って、体を隅々まで洗い。三回ぐらい洗い。髪の毛も四回くらいシャンプーした。

寝癖がつかないように、きちんと乾かして、明日持っていく物のリストを何度もチェックした。

ここまで、準備をしておけばさすがの僕も一安心だ。

時計を見るとまだ六時を回ったところだが、明日は五時間早く、午前三時に起きる為にはそろそろ寝なければならぬ。

しかし、明日のデートへの不安と期待と不安で、どうしても寝つけない。

少し考えて、母がいつも使っている睡眠薬を飲むことにした。

一粒では効果があるか不安なので瓶に入っているカプセルを2/3くらい飲んだ。

急速に眠気がして、布団にたどり着く前に意識が薄らぐ。

これで安…し…眠……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5675a/>

心配性

2010年10月17日06時09分発行